

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 4月15日

事業所名 きらめき大湾

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7				・今後は構造化を取り入れ、子ども達が活動する場をわかりやすくしたい。
	2	職員の配置数は適切である	4	3		・支援に支障はないが、余裕があるわけではない。 ・この先、不安あり。 ・職員が足りない場合は、ヘルプを頼んだり工夫している。	・求人広告活動をして、人材の確保に務める。 目標:2名のスタッフ入職。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	2		・車イス対応ではない。 ・事業所内に階段などもなくバリアフリー化に配慮されている。	・一部分段差があるところを、改善に転倒防止につなげていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			・週に1回の事業所会議。 ・事業所会議を1週間に1回開き、振り返りも行っている。	・会議で決定した内容を、その後評価し、改善へとつなげていけるようにしていく。(実践的に行動していく。)
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7				・今後も継続して、改善に努めていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		・自分自身が把握していないため。	・職員全員に把握するように伝達を行っていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		・自分自身が把握していないため。	・高江洲さんからラウンドで評価して頂いています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			初任トレーニングなど学ぶ機会がたくさんあるため。	・今後は事業所内勉強会を開催して質の向上につなげてく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7				・モニタリング会議や、計画見直しのタイミングに分析、計画書の再作成をしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2			・事業所で標準化されたアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			事業所内で活動表があったり、リーダー、副リーダーで話し合いを行っているため。	・毎月確認を出来ているわけではないので、定期的に活動内容についての話し合いを行っていきたいと思います。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			リーダーが児童に合ったプログラムを考えたり、工夫している。	・今後も子ども達が飽きないように活動内容を工夫していきたいと思います。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1		休日は、朝から外出プログラムを設定したり支援を行っている。	・今後もより個別支援計画書に基づいて支援を行っていきたいと思います。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1			・支援計画書には、個別と集団のプログラムを取り入れている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			・毎日、昼食後に情報共有。 ・平日はミーティングを行い、職員間での情報共有なども行って確認している。	・今後も継続して週に一回の支援会議と、毎日のミーティングを行う。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			・終礼を設けている。	・支援後もその日の業務を振り返り、次の支援の改善に活かしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7				・毎日日報を記録し、モニタリング会議やカンファレンスで記録を活用している。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			・事業所会議を1週間に1回開き、モニタリングを行っている。	・今後も週に一度は支援会議開催し、児童の支援計画の見直しを行っていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	2			・ガイドラインに示されている基本活動をもとに、活動プログラムを作成している。
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1			・基本的に児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			学校のお迎え時に担任と連絡を取り合っており、情報共有も行っている。	・今後は早下校等の連絡漏れがないように、学校等に毎月確認していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	3		自分自身が把握していないため。	・当事業所では看護師の配置がないので対応がない。相談があれば法人内の医療的ケア児を受け入れていく事業所に繋げていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	4		自分自身が把握していないため。	・今年度は対象児童がいなかった。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	3			・移行する場合は、保護者様承諾の元情報提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3		自分自身が把握していないため。	・沖縄県放課後デイ連絡会が開催する、虐待防止zoom研修に参加した。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7			・毎月2回児童館を利用。 ・児童館や公園での地域の子どもたちとのふれあいがあるため。	・感染予防をしながら、来年度も交流を行ってきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	3		・参加したことがない。 ・自分自身が把握していないため。	・今後は参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			・送迎時の保護者との会話や、連絡をし、情報共有を行っている。	・必要に応じて面談等も行い、情報共有する場を作っていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	4		・聞いたことがあり、保護者へチラシを配布したことがある。 ・自分自身が把握していないため。	・社協が開催する、ペアレントトレーニングへの参加を促していく、と共に、ペアレントトレーニングの研修等に参加していきたい。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	2			・契約時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7				・送迎時や、モニタリング会議、面談等で相談に応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4		自分自身が把握していないため。	・コロナ過ということもあり、感染予防対策をしながら保護者会を開催していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			苦情があった場合は、職員間で話し合いをし、改善に努めている。	・苦情がある場合には迅速に対応していきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1			・毎月活動プログラムのお便りを配布している。
	35	個人情報に十分注意している	7			外部や家族など、児童の個人情報は漏らさないように気を付けている。	・今後もさらに個人情報の管理には注意していきたい。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1			・LINEを使ってお知らせ等を行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4		コロナ化のため、交流するのが難しくどちらとも言えない。	・コロナの状況を見ながら地域に開かれた事業運営を考えていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			・防犯(不審者)対応の道具がない(小学校などにはある) ・マニュアルを、事業所内の玄関に設置。誰でも見られるよう工夫されている。	・今後は不審者対応訓練を行ってきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			事業所内で避難訓練を行ったり、災害対策を行っている。	・年に二回訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			研修動画を視聴するなど共通理解を行う工夫をしている。	・年に一回虐待研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1			・身体拘束を対象とする児童がいないため、記載はなし。今後必要に応じて、計画書に記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1		自分自身が把握していないため。	・一名の児童がアレルギー対応をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			・事業所会議で共有。 ・事業所会議で、職員間でヒヤリハットを共有したり、安全対策を行っている。	・月に一度ヒヤリハットの事例集を共有と確認をしている。